

平成25年度
公益財団法人兵庫丹波の森協会事業報告書

自 平成25年4月1日

至 平成26年3月31日

公益財団法人兵庫丹波の森協会

目 次

活動方針	1
事業体系	3
事業の状況	7
I 公益目的事業	
公1 森林文化（地域づくり）の創造	7
公2 生活創造活動への支援	12
公3 芸術文化の振興	15
公共 丹波地域情報の発信等	16
II 収益事業会計等	
収1 利用者への利便提供等事業	17
他1 芸術文化団体等活動支援事業	17
III 法人会計	17
施設の利用状況	19
(1) 丹波の森公苑	19
(2) 丹波年輪の里	20
(3) ささやまの森公園	20
事業の受託状況	21

平成25年度 活動方針

当協会は、丹波地域（篠山市・丹波市）の地域づくりの指針である「丹波の森構想」の推進母体として昭和63年に設立（平成2年に財団法人、平成24年に公益財団法人）され、兵庫県、篠山市、丹波市や市民と連携しながら、丹波の森づくりの意識啓発や人材育成、ふるさと教育の推進、地域づくり活動の支援などに取り組んできたところである。

平成25年度の主な取組として、丹波の森づくりの拠点施設である「県立丹波の森公苑」、「県立ささやまの森公園」、「県立丹波年輪の里」及び「県立丹波並木道中央公園」の4つの施設の連携を更に深め、また、「丹波の森研究所」の充実強化を図りながら、丹波の豊かな地域資源を活かした地域づくり、恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり、地域情報の発信、環境学習の推進、木育の推進、芸術文化の振興、生活創造活動のコーディネートなど多彩な分野の学習、交流、地域づくり事業等を支援、推進する。

具体的には、「人と自然と文化の調和した森(地域)づくり」を目指して、次の3つのテーマを公益目的事業として設定し、事業や取り組みを推進する。

1 森林文化（地域づくり）の創造

人と自然が共生する丹波の森づくりを推進するために

- (1) 魅力ある地域づくりの推進
- (2) 生物多様性保全に向けた豊かな里山づくり
- (3) 生物多様性を育む里山とのふれあい事業の推進

2 生活創造活動への支援

多様なライフスタイルの創造を支援するため、地域・団体活動の支援や生涯学習の場の提供、くらしの安全安心の推進、明日を担う丹波っ子の育成など生活創造活動への支援を行う。

3 芸術文化の振興

人と人、人と自然のふれあいの中から生まれた文化を大切に作る心を醸成するとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供や芸術文化活動の振興、芸術文化団体活動の支援など芸術文化の振興を図る。

【施設ごとの活動方針】

・「県立丹波の森公苑」では、「生活創造活動」と「参画と協働によるこころ豊かな美しい丹波づくり」の推進拠点として、引き続き丹波らしさを生かした地域づくりを推進する。

・「県立ささやまの森公園」では、自然との共生を体験する施設として、里山保全や多彩な自然体験プログラムを展開し、世代や地域を越えた交流を通じて、豊かな丹波の里

山づくりを推進する。

・「県立丹波年輪の里」では、木工クラフトの創造・創作活動の拠点として、木とのふれあいの中で、物づくりの楽しさを伝え、森林や環境を考える心を育てる木育を推進していく。

・「県立丹波並木道中央公園」では、豊かな森づくりと都市との交流の場として地域づくりに貢献する丹波らしい公園づくり「森づくりから森づかい」を基本に、森の魅力を地域の人々が主体となる企画運営を重視した公園づくりを推進する。

・「丹波の森研究所」では、地域に密着したシンクタンクとして調査研究や取組提案を行い、市民主体の活動を支援するとともに魅力ある丹波の森づくりを先導していく。

平成 25 年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業体系

人と自然と文化の調和した丹波の森づくりを推進するため、県立丹波の森公苑、県立丹波年輪の里、県立ささやまの森公園及び県立丹波並木道中央公園において、次の事業を実施する。

I 公益目的事業会計

公1 森林文化（地域づくり）の創造

「丹波の森構想」の普及・啓発（深化）のための人材養成、丹波の森づくり推進施策に基づく事業を行うことにより、丹波の森構想の理念である「自然とともに生きる地域社会の実現」をめざす。

(1) 魅力ある地域づくりの推進

- ア 丹波の森大学の開設及び専科生への研究支援事業
- イ ウィーンの森親善訪問事業
- ウ 美しい村づくり活動支援事業
- エ 人材活用推進事業（丹波の森市民研究員制度）
- オ 丹波の森研究所の充実強化
- カ 地域づくり支援事業
 - ・ 地域づくり支援事業
 - ・ たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり事業
 - ・ 県立大学山南スタジオの運営事業
 - ・ 空き民家再生マップ作成
 - ・ たんば田舎暮らしワンストップ相談
 - ・ 企業と住民の協働による企業の森・里づくり
 - ・ 丹波グリーンツーリズムホームページの運営
 - ・ 丹波氷上回廊ホームページの運営
 - ・ 丹波の草花と生き物ガイド作成
- キ 花づくり研究員活動作成支援事業
- ク 丹波の森フェスティバルの開催
- ケ 丹波年輪の里事業
- コ 丹波並木道中央公園の企画運営

【県立丹波年輪の里】

【県立丹波並木道中央公園】

(2) 生物多様性保全に向けた豊かな里山づくりの推進

- ア 里山ボランティア（森づくりスタッフ）養成事業
- イ 里山創造活動支援事業
- ウ 森づくりアドバイザーの設置
- エ 国蝶オオムラサキの舞う里山づくり
- オ ささやまの森公園事業

【県立ささやまの森公園】

(3) 生物多様性を育む里山とのふれあい事業の推進

- ア 丹波の森公苑環境学習推進事業

(4) 公1 共通経費

公2 生活創造活動への支援

芸術文化、環境、消費生活、健康、福祉等の様々な分野にわたる生涯学習、地域づくり活動その他の活動であって、豊かな生活を創造するための県民の主体的な活動（以下「生活創造活動」という。）を支援し、生活創造活動に係る情報を提供することにより丹波の森構想の理念である「活力ある開かれた地域社会の実現」をめざす。

(1) 地域・団体活動の支援

ア 県民交流広場等ネットワーク化支援事業

イ スポーツ大会・文化教室の開催

【県立丹波年輪の里】

(2) 生涯学習の場の提供

ア 放送大学センター外視聴教室の運営

イ 兵庫県地域高齢者大学4年生大学講座（丹波OB大学）の開設

ウ 兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座（丹波OB大学院）の開設

エ 講座「丹波学」の開設

オ 兵庫県立大学特別公開講座の開設

カ 森のコミュニティ応援隊派遣事業

キ 学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会の開催

(3) くらしの安全安心の推進

ア 生活創造活動支援事業（消費生活を含む）

(4) 明日を担う丹波っ子の育成

ア トライやる・ウィーク、インターンシップ受入

【全施設】

イ 丹波の森美術学校の開設

ウ 丹波の森子どもミュージカル体験塾の開催

エ 丹波の森ふれあい中学生ソフトテニス大会公苑長杯の開催

オ 丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし語りベクラブの活動支援

(5) 公2共通経費

ア 施設運営・管理

公3 芸術文化の振興

県民に音楽、演劇等の優れた舞台芸術等に触れる機会と創作活動の発表の場を提供することにより、丹波の森構想の理念である「潤いと安らぎのある地域社会の実現」をめざす。

(1) 舞台芸術鑑賞機会の提供

ア 丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんばの開催

イ 丹波の森演劇祭の開催

ウ ホール自主事業

(2) 芸術文化活動の振興

ア アートクラフトフェスティバル in たんばの開催

【県立丹波年輪の里】

イ 丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ展）の開催

【県立丹波年輪の里】

ウ 丹波の森アートフェスティバルの開催

- エ ステージスタッフ活動支援事業
- オ 展示ギャラリーの開設
- カ 伝統文化活性化支援事業
- キ 座っ展 2013-丹波でうまれた木の椅子

【県立丹波年輪の里】

(3) 公 3 共通経費

- ア 施設運営・管理

公共 丹波地域情報の発信等

(1) 丹波地域情報の発信等

- ア 情報誌「丹波の森」の発行等

【全施設】

- イ 運営委員会の開催

【全施設】

II 収益事業会計等

1 収益事業会計

- (1) 施設利用者への利便提供等事業の実施

【県立丹波の森公苑、県立丹波年輪の里】

2 その他事業会計

- (1) 芸術文化団体等活動支援事業

- ア 芸術文化団体等への活動支援

III 法人会計

【全施設】

1 法人会計

- (1) 協会維持運営

(注) 各事業の右に実施している施設名を記載している。記載がない場合は、県立丹波の森公苑で実施している。

平成 25 年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業報告書

I 公益目的事業会計

公1 森林文化（地域づくり）の創造

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
(I) 魅力ある地域づくりの推進	ア 丹波の森大学の開設及び専科科生への研究支援事業	「丹波の森構想」を実現するための学習の場として、個性豊かで誰もが幸せに暮らせる地域づくり・環境づくり、そしてそれを支える「もり(森・守・盛)びと」づくりなど、将来の丹波地域を創造するための講義と現地学習を交えた講座を開催する。	○第 23 期の開講 ・基本テーマ「最前線を語る」 ・実施期間 6月27日(木)～12月6日(金) (全10回のさまざまな講義を実施) ・受講生 55名 ・受講料 10,000円	1,164,000	1,112,232	
	イ ウィーン市の森親善訪問事業	自然保護や環境保全景観形成など、共通の取組を進めているウィーン市の森等へ親善訪問団を派遣し、丹波の森構想のモデル地域の状況・生活を体験する。	・7月4日(木)～13日(土)まで、辻理事長を団長とする24名の訪問団がウィーン市13区などを訪問。親善と交流を深めてきた。特に今年は交流提携20周年ということもあり、オオムラサキによる交流を実質的にスタートさせることができた。	1,692,000	1,679,588	
	ウ 美しい村づくり活動支援事業	人と自然と文化・産業が調和した魅力ある地域づくり(丹波の森構想)を進めるために、住民・事業者・行政が一体となった丹波の美しさを守り活かす活動を支援する。	・丹波の森研究所研究員が、丹波地区の美しい景観を創造する事業を進めようとする、篠山市「杉地区」「味間地区」、丹波市「多田地区」「遠阪地区」「美和地区」の計5地区より要請を受け、ワークショップを実施するなど、アドバイザーとして、事業計画づくりに積極的に関わった。	269,000	249,486	
	エ 人材活用推進事業(丹波の森市民研究員制度)	地域の現状を把握し、より地域の課題に対応した実践的な活動を支援するため、地域の優れた人材や実践組織を「市民研究員」として登録し、地域への派遣を通じてそれぞれの人材の有する知識や技術等の経験を地域に還元する。	・「語りべクラブ」によるむかしばなしの普及と啓発に市民研究員を派遣した。 ・10月27日(日) 2013丹波の森フェスティバル 2件派遣 参加者300人	10,000	10,000	
	オ 丹波の森研究所の充実	「丹波の森構想」(人・自然・文化・産業の調和した地域づくり)を推進するために、研究員の確保と資質の向上、地域づくり等に関する調査研究・提言・支援などの能力の向上、研究所の方向検討、時代に対応した研究テーマの発掘などを進める。	・研究交流会を通じた情報交換、方向性検討など ・新たな研究員3名の増員 ・恐竜化石等を活かしたまちづくりの支援 ・自然・環境体験プログラムの企画・実施 ・「まち歩き」まちづくりの企画・実施 ・研究所活動の広報・PR	10,304,000	10,254,613	
	カ 地域づくり支援事業	・ 地域づくり支援事業 活力と魅力ある丹波の森(地域)づくり推進に向けて、地域・行政・大学・NPO等と連携協働しながら、調査研究、重点地区の支援(アドバイザー派遣)、人材育成の3つの側面から支援を行う。	・まち歩きまちづくりのプログラムを3件実施 「[まのぼーのなかのまち歩き]」「寒茶でピクニック&カフェ」 「子どもたちが見ている地域の魅力マップづくり」 ・「恐竜・哺乳類等化石を活かした地域づくりーエコツーリズム推進」の一環として、自然環境体験プログラム2件実施 「岩石染めワークショップ」 「ガイアウォーク」 ・丹波地域の広域観光ルートの構築につながる「三丹環境学習拠点パートナーシップの検討」を実施 ・まちづくりに関する四者(県民局・篠山市・丹波市及び兵庫丹波の森協会)連絡調整会議開催 第1回:5月23日(木) 第2回:10月30日(木)	2,034,000	2,033,806	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
	・ たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり事業	篠山層群で発見されて世界的にも稀少な恐竜・哺乳類化石等をテーマとして市民主導による持続的な地域づくりを推進するため、その価値や意義、丹波の魅力を広く全国に発信するとともに、当協会が主導してまちづくり協議会(構成団体: 県・両市、両市の商工会・観光協会等59団体)を組織し、観光資源、特産品等の開発、人材育成などを進める。	<ul style="list-style-type: none"> 企画運営委員会・幹事合同会議開催 <ul style="list-style-type: none"> 第1回 4月12日(金) 第2回 9月20日(金) 第3回 1月29日(水) 総会 6月11日(火)に開催 ホームページにおいては随時最新情報を投稿 各種イベントにおける情報発信を実施 おでかけ探検マップスタンプラリーの実施 恐竜フィギュア制作事業については委託契約を締結し、制作者と第1回打ち合わせを実施(9月) 丹波の森フェスティバルほか各種イベントでの丹波竜フィギュア事業のPRを実施 フィギュアの原型模型完成(10月) 兵庫県情報番組「ひょうごワイワイ」での丹波竜フィギュア事業の紹介 丹波竜フィギュア完成納入(2月) 協議会団体によるPR用フィギュアを配布及び販売活動開始(3月) その他協議会運営事務の実施 	2,911,000	2,911,000	
	・ 県立大学山南スタジオの運営事業(県及び丹波市受託事業)	川代溪谷や篠山層群一帯をはじめとする丹波地域をエリアとして、兵庫県立大学の学生等を受け入れ、地域住民と連携しながらたんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり事業への提案等、実践活動を展開する。	<ul style="list-style-type: none"> 山南地域消費者協会との連携による化石石鹸づくりの実施 <ul style="list-style-type: none"> 7月18日(木) ひとはく博物館実習の支援 <ul style="list-style-type: none"> 8月17日(土) 	400,000	240,000	
	・ 空き民家再生マップ作成(県受託事業)	人口減少や少子高齢化に伴い空き民家が増加、防犯上・防災上も問題点が指摘されている。 丹波地域全体の空き民家現状調査を行うとともに、モデル地区(4地区)において集落単位のマップを作成することにより、地域ごとの課題を明確にする。	<ul style="list-style-type: none"> (1) 空き民家現状調査 アンケート調査の実施 7月～ (2) 空き民家再生調査(4地区) 8月～ 丹波市(大路、久下) 篠山市(大山、古市) (3) 空き民家マップの作成 2月 報告書の提出 3月 	2,000,000	2,000,000	
	・ 丹の里田舎暮らしワンストップ相談(丹波市受託事業)	丹波市への定住促進と地域活性化を図るため、都市住民を対象に、移住や週末滞在、田舎暮らし体験、就農など田舎暮らしに関する相談・情報を提供する「丹の里田舎暮らしワンストップ相談」を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 「丹の里田舎暮らしワンストップ相談」の実施 <ul style="list-style-type: none"> (4月1日から実施) ◎相談<日時> 火曜～日曜(年末年始を除く) 9時～12時、13時～17時 	2,702,000	2,701,650	
	・ 丹波の田舎暮らしPR事業(県受託事業)	丹波の魅力を紹介し、丹波地域への定住を促進するため、都市部において丹波に移り住んだIUターン者による「たんば田舎暮らしセミナー」の開催や「田舎暮らし相談会」への出展を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 「田舎暮らし相談会」への出展 <ul style="list-style-type: none"> 9月22日(日) 第9回ふるさと回帰フェア(大阪市) 「たんば田舎暮らしセミナー」の実施 <ul style="list-style-type: none"> 10月12日(土) シティプラザ大阪(大阪市) 	300,000	300,000	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
	・ 企業と住民の協働による企業の森・里づくり (県受託事業)	農山村地域では、過疎化や高齢化などを背景に、森林や農地の荒廃が進んでいる。 丹波地域において、これら課題解決のため、社会貢献活動に取り組む企業と地域が協力して、森林や農地の保全活動に取り組む。	・活動地6地区(篠山市:油井、曾地中、宮代、丹波市:大名草、遠阪、成松)の森づくり協議会の調整及び森づくり活動の技術的サポート ・森づくり活動実施日 遠阪地区:5月18日 大名草地区:5月18日、11月9日 曾地中地区:5月19日、12月1日、2月23日 油井地区:5月25日 宮代地区:10月19日 ・森づくり協定(4~5年間)の満期に伴い、新たな協定締結や活動計画づくりに関する支援	591,000	591,000	
	・ 丹波グリーンツーリズムホームページの運営 (県受託事業)	丹波地域における農業・収穫体験などを中心にした着地型観光の拡大に寄与するために、体験型ツーリズム情報を随時更新・提供し、丹波地域への誘客につなげることを目的としたホームページ「もりびとに、なろう。」の充実を図る。	・ 丹波グリーンツーリズムホームページ「もりびとに、なろう。」を運営した。篠山・丹波両市の的確な観光情報、イベント情報をタイムリーに提供している。このさまざまな情報により、充実した丹波地域の観光を楽しんで頂いており、観光客の増加につながった。	840,000	840,000	
	・ 丹波氷上回廊ホームページの運営 (丹波市受託事業)	丹波地域の気候風土や歴史文化に大きな影響を与えた「氷上回廊」を広く紹介するとともに、生物多様性保全や地球温暖化防止などの環境意識の啓発を目的として、ホームページ「氷上回廊」のコンテンツの充実を図る。	・ 丹波氷上回廊ホームページの更新運営、豊かな土地、多様な生きものの営みと恵み、そして、人々との交流の様様を効果的にアップし、紹介した。丹波市の地域の素晴らしさを十分にPRできた。	452,000	451,500	
	・ 丹波地方の草木と生き物ガイドブックの作成 (新規事業)	丹波地域に生息する生き物や草花を知ることで、自然環境を学び、豊かな丹波の森の自然環境を守る。	・ 丹波地方の草木と生き物ガイドブックの改訂版を作成するため、有識者8名による「改訂版検討委員会」を立ち上げ、6回に及ぶ検討会を開催した。その結果、10種類の動植物の変更、100点以上に及ぶ写真の差し替え、説明文の改定などを決定し、作成した。	796,000	791,891	
キ	花づくり研究員活動支援事業	花と緑あふれる美しい丹波づくりを推進するため、地域の花づくり愛好家などを対象に、園芸や緑化活動に関する学習機会を提供する。	[長期講座] 内 容:草花等の育成に関する知識習得、寄せ植えを中心とした実習 受講者:49人 受講料:13,000円(前期) 14,500円(後期) 講 師:県立フラワーセンター職員 実施日:4~3月(毎月1回開催) [短期講座] 内 容:園芸に関する基礎知識習得 受講者:33人 受講料:5,000円 講 師:但馬高原植物園植栽主任 田丸和美 実施日:5・6・8・10・12月(年5回)	1,372,000	1,372,000	
ク	丹波の森フェスティバルの開催	地域住民をはじめ、各種団体や企業、篠山市・丹波市など丹波地域の各階各層が取り組む様々な活動成果の発表や交流の機会を提供するため、丹波の森フェスティバルを開催する。	・テーマ:もりびとになってたんばらしさを楽しもう ・開催日:10月27日(日) ・実施内容:交流・活動発表コーナー、スマイルステージ、地域交流フェスタ、丹波の森演劇祭、フリーマーケットほか ・参加者数:5,000人	650,000	650,000	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
	ケ 丹波年輪の里事業	木とのふれあいの中で、木工クラフトを中心に、スポーツ、レクリエーションの活動を促進するため、各種の事業を実施する。 【概要】 ・GW フェスタ、アトリエ作品展など実施(4月、5月) ・団体及び個人等に対する木工クラフト指導(通年) ・週3回のグラウンドゴルフ事業(芝生広場活用)(通年) ・木を暮らしの中に取り入れるために、木材に関する情報提供、木材利用相談などを実施(通年)	○工作室における木工クラフトの指導 子どもたちには木に触れ、木でものを創る楽しさを、大人には木工クラフト基礎や楽しさを指導 団体 272件 3,784人 個人共同 3,608人 ○ゴールデンウィークフェスタの実施 4月28日(日)～5月6日(月・祝) 入場者 10,600人 ・親子工作教室 参加費 500円、参加者数 62人 ・木づくり手づくり市 出店料 2,000円、出店数 70店 ・座っ展ー丹波でうまれた木の椅子 出展料5,000円 出展者数 13名 32脚 見学者数 1,989人 ・アトリエ作品展 出展者数 33人、出展数 72点 ・フリーマーケット 出店料1,000円、出店数 122店 ・竹とんぼ教室 参加者数 90人 ・ツインギ教室 参加者数 78人 ○平日グラウンドゴルフ 1人 300円 ・営業日 125日 1,274人 ○木を暮らしの中に取り入れるための普及・啓発に努める。 ・webサイトからの木材に関する情報提供 ・木材研修会、木育セミナーなど開催 ・木材業界や一般県民からの木材に関する木材利用相談などに応じている。	1,404,000	1,426,743	
	コ 丹波並木道中央公園の企画運営	市民・地域参加による公園の管理や利用促進のため、参加型プログラムの企画運営など、主にソフト面からの管理運営を進める。	・市民・地域等と協働しながら、プログラムを随時実施。 ・10月27日(日)に第2回丹波なみきみちまつり2013を地域と連携し、実行委員会形式にて実施	7,000,000	7,000,000	
(3) 生物多様性保全に向けた豊かな里山づくりの推進	ア 里山ボランティア(森づくりスタッフ)養成事業	丹波の森公園の里山を活動の場とし、里山の自然や生き物とのふれあいを通じて、森づくりに参画する人材の育成を図る。	【森づくり講座の実施】 里山の保全・管理活動に興味を持っている人や技術取得をめざす人を対象に、里山整備・管理活動の項目を絞り、1日完結の講座を実施。 【環境学習体験フィールドの整備】 里山に親しむ環境づくりに向けて、里山倶楽部の協力を得ながら、遊歩道やビツ票の森などを整備。	357,000	357,000	
	イ 里山倶楽部活動支援事業	森づくりスタッフOBによる自主活動クラブである里山倶楽部の主体的な活動の場を提供することにより、県民の里山とのふれあいの場の整備を推進する。	森づくりスタッフOBによる自主活動グループである里山倶楽部の活動を支援 会員数：28人	50,000	48,548	
	ウ 森づくり活動アドバイザーの設置	緑豊かな丹波の森づくりに向けた住民の主体的な活動を支援するため、森づくり活動アドバイザー(2人)を配置する。	【森づくり出前講座】 自治会、施設等からの要請により、森づくりアドバイザーを派遣し、森づくりや環境学習の相談・指導・支援(4～3月 3回)			
	エ 国蝶オオムラサキの舞う里山づくり	丹波の里山に国蝶オオムラサキが舞う姿を取り戻し、良好な里山環境を次世代に繋げていくためオオムラサキの飼育展示を行う。また、兵庫丹波オオムラサキの会と連携し、地域でのオオムラサキの生息環境整備を推進する。	生物多様性保全に向けた豊かな里山づくりを進めるため、里山のシンボルである国蝶オオムラサキの飼育展示を行う。 ・体験飼育展示 ・小学校等への飼育指導(17小学校、1高校、4事業所等) ・放蝶会の実施：7月5日(金)(参加者：100人) ・兵庫丹波オオムラサキの会との連携	233,000	233,000	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
	オ ささやまの森公園事業	人と自然が共生する豊かな里山づくりを推進するため、ボランティア活動スタッフ等の参画と協働により、(ア)基本プログラム(里山体験・レクリエーション・自然学習・里山復元)の実施を柱に、(イ)特別プログラム(里山まつり・特別企画等)や、(ウ)団体プログラム(園内散策・木工クラフト等)などの実施をすることにより、里山の保全と創造を進め、交流の場、ふれあいの場を提供する。	○基本プログラム ・里山体験班：草木染め、布ぞうり作り等 プログラム回数：39回 参加者：460人 ・レクリエーション班：深山登山、火おこし器作り等 プログラム回数：14回 参加者：220人 ・自然学習班：ホテルとモリアオガエル観察等 プログラム回数：16回 参加者：189人 ・里山復元班：丸太のベンチ作り、竹の風鈴作り等 プログラム回数：17回 参加者：220人 ○団体プログラム ・団体利用：34団体 942人参加 ・森の学校(第6期生)：自然観察、飯ごう炊飯等 参加者：小学3年～6年生 20人 (10回/年) 参加費：5,000円 ・丹南校「里山文化」：間伐体験、ツル細工等 参加者：生徒13人、一般6人 (13回/年)	14,333,000	14,620,172	
(3) 生物多様性を育む里山とのふれあい事業の推進	ア 丹波の森公苑環境学習推進事業	里山の自然や生き物について体験的に学ばせるため、自らが日々の暮らしや生活行動を見直す機会をつくる環境学習を行う。	[子ども対象プログラム] ・丹波縄文の森塾の開催 期 間：5月～3月(11回/年、キャンプ含む) 参加者：小学4年～6年生34人(篠山市及び丹波市) 参加費：6,000円 内 容：里山探索、生きもの観察、縄文キャンプ(2泊3日)土器焼き、ツリーイング、草木染め、夜間昆虫観察など [親子・家族対象プログラム] ・春の里山ハイキング 実施日：4月29日(月・祝) 参加者：21人 参加費：200円(小学生以上) [リーダー養成プログラム] 縄文の森塾の運営に携わる「自然体験活動支援サポーター」を設置。大学生、社会人18人が毎月の塾活動を支援し、自然体験活動のノウハウを培っている。 [環境学習支援プログラム] ・秋の里山実り体験 参加者：保育園児、幼稚園児、小学生及び引率者17施設・621人(篠山市及び丹波市) ・出前講座の実施 ・公苑における環境学習支援	1,128,000	1,058,094	
(4) 公1共通経費	ア 施設運営・管理	公1 森林文化(地域づくり)の創造事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公1 森林文化(地域づくり)の創造事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費に支出している。	108,482,103	108,191,443	

公2 生活創造活動への支援

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
(1) 地域・団体活動の支援	ア 県民交流広場ネットワーク化支援事業	丹波地域における県民交流広場事業の取り組みやその成果を、広く住民に紹介することにより、コミュニティ再生の気運づくりと各広場間の交流や連携の促進を図る。	・ 情報誌「丹波の森」による情報発信(6月、1月) ・ 管内の県民交流広場の活動等を冊子にまとめ、関係機関・団体等に配布するとともに森公苑ホームページによる情報発信(4月、7月、10月、1月)	45,000	45,000	
	イ スポーツ大会・文化教室の開催(丹波年輪の里)	工作室などを利用する木工特別教室、マイ箸づくり、アトリエを利用するサークル教室、こどもの読書を促す絵本の読み聞かせ、などを開催する。 地域のスポーツ・文化活動を促進するため、イベント広場などを利用する少年サッカー大会、グラウンドゴルフ大会、竹とんぼ大会を開催する。	○特別工作教室 木工基礎講座、木彫教室、箸・スプーンづくり、夏休み親子工作教室など ・参加費 500円～800円(材料費別) ・延べ163回 1,496人 ○サークル教室 1回使用 1,500円 延べ89回 721人 ・スプーン竹とんぼ ・レザークラフト ・絵画 ・木彫 ・バードカービング ・菊友会 ○親子で絵本を楽しもう(年2回) 参加費無料 8月3日(土) 7人 3月15日(土) 8人 ○つくって飛ばそう竹とんぼ大会 参加費 1,000円(子ども無料) 8月25日(日) 30人 ○グラウンドゴルフ大会(年4回) 参加費 500円 (6月・9月・12月・3月) ○コバヤ原少年サッカー大会の開催 参加費 1チーム 500円 7月→変更・2月15日(土)・16日(日) 18チーム 360名	1,956,000	1,805,345	
(2) 生涯学習の場の提供	ア 放送大学センター外視聴教室の運営	放送大学の学生への学習支援のため、ビデオ・テープ等の学習教材視聴の場として丹波教室を開設運営する。併せて、一般県民への学習教材の視聴提供も行う。	放送大学生への学習支援として、教材並びに視聴覚機器を提供している。	0	0	
	イ 兵庫県地域高齢者大学4年制大学講座(丹波OB大学)の開設 ウ 兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座(丹波OB大学大学院)の開設	生涯学習の一環として、高齢者が生きがいのある充実した生活基盤を確立するため、学習と交流の機会を提供するとともに、社会の担い手として永年培ってきた知識や経験をより磨き、魅力ある地域社会を創り出す実践者を養成する。	【丹波OB大学】 ・学習年限：4年 ・募集定員：各学年60人 ・受講者数：227人(1年68人、2年67人、3年54人、4年38人) ・講座内容：教養講座、専門講座(健康福祉、地域文化、生活創造) ・開催時期：4月から3月19回 ・受講料：12,500円 【丹波OB大学大学院】 ・学習年限：2年 ・募集定員：各学年30人 ・受講者数：42人(1年27人、2年15人) ・講座内容：基礎・応用講座、課題・実践演習、事例研究、実践活動 ・開催時期：4月から3月(20回) ・受講料：12,500円	2,118,000	2,118,000	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
	エ 講座「丹波学」の開設	「丹波の森構想」に対する理解を深めるとともに、丹波地域の多彩な資源や魅力を再発見し、主体的に地域づくりに参画しようとする意欲の高揚に結びつけるため、学習の機会を提供する。	・テーマ：戦国の世と丹波 ～戦乱を駆け抜けた武将たち～ ・日 程：8月31日(土)～2月16日(日) 全5回 ・場 所：丹波の森公苑多目的ルーム ・募集定員：80人(受講者数179人) ・講 師：小和田哲男(静岡大名誉教授)ほか ・受講料：5,000円	895,000	895,000	
	オ 兵庫県立大学特別公開講座の開設	生涯学習の一環として、また、地域に開かれた大学として地域社会への貢献に資するため、大学の研究成果を判りやすく紹介し、現代の社会や世界の動向を理解する上で役立つ知見を広く県民に提供する。	・テーマ：地震・津波などの自然災害がもたらす被害と備え ・日 程：7月20日(土)～9月21日(土) 全5回 ・場 所：丹波の森公苑セミナー室 ・募集定員：40人(受講者数22人) ・講 師：室崎益輝(県立大学特任教授)ほか ・受講料：5,800円	106,000	106,000	
	カ 森のコミュニティ応援隊派遣事業	生活の創造や豊かな地域社会づくりを実現するため、県民が身近な地域を学びの場と位置づけ、地域コミュニティの再生をめざして自主的に行う学習会・ワークショップ等の講師謝金を助成する。	・助成内容：住民の企画する学習会・研修会などに派遣する講師への謝金を助成 ・助成講座数：7件	210,000	210,000	
	キ 学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会の開催	丹波地域で学ぶ高齢者が一堂に会し、高齢者の主張・芸能発表や、創作作品の展示を通して日頃の学習活動の成果を発表し、互いに学びあい交流を深め生きがいと健やかな社会づくりの輪を広げる。	・日 程：9月27日(金) ・場 所：丹波の森公苑ホール ・参加者数 600人(丹波管内の高齢者大学受講生など) ・内 容：式典、高齢者の主張発表、芸能発表、作品展	300,000	300,000	
(3) 暮らしの安全安心の推進	ア 生活創造活動支援事業(消費生活を含む。)	生活創造活動や消費生活に関する相談窓口を開設するとともに、消費者被害防止のための普及啓発として職員による出前講座等を実施する。	・生活創造・消費生活相談窓口の開設(休苑日を除く、土日は事前予約制)(相談件数475件) ・出前講座の実施(66回 2,942人) ・消費生活にゆーすの発行(年4回 各回170部発行)	210,000	210,000	
(4) 明日を担う丹波っ子の育成	ア トライやる・ウイーク等受入	中・高生が働くことの大切さや厳しさを学ぶため、職場体験の場を提供する。	・トライやる・ウイーク(中学生) 6月4日(火)～8日(土) 丹波の森公苑 5名 年輪の里 6/2(日)～6/6(木) 5名 ささやまの森公園 3名 ・インターンシップ(高校生) 11月12日(火)～15日(金) 丹波の森公苑 2名	10,000	10,000	
	イ 丹波の森美術学校の開設	「丹波の森構想」のめざす芸術文化の香り高い地域づくりを推進し、子どもたちの創造意欲を高めるとともに、豊かな感性を育むため、新進芸術家や大学教授等を講師に美術教室を開催する。	【宝塚大学連携講座】 ・日 程：8月10日(土)、11日(日)の各日 ・場 所：丹波の森公苑会議室 ・対象者：小学5・6年生、中・高生 ・募集定員：各日とも15人(参加者数 10日・16人、11日・10人) ・講 師：柳たかを(宝塚大学教授)ほか ・参加費：1,000円	278,000	278,000	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
	ウ 丹波の森子どもミュージカル体験塾の開設	豊かな感性や表現力、コミュニケーション能力を育むとともに、子どもたちが創造する楽しさを体験し舞台芸術に親しむことを通して、舞台芸術創造活動のすそ野の拡大を図り、青少年健全育成に資するため、将来の芸術文化を担う子どもたちにミュージカル体験機会を提供する。	【レッスン】 ・日程：7月25日(木)～10月19日(土)の15回 ・場所：丹波の森公苑多目的ルームほか ・対象者：小・中・高校生 ・募集定員30人(参加者数39人) ・指導：劇団ウエスト ・参加費5,000円 【発表公演】 ・日程：10月20日(日) ・場所：丹波の森公苑ホール ・入場料：大人1,000円、高校生以下500円 ・入場者数：646人	1,500,000	1,500,000	
	エ 丹波の森ふれあい中学生ソフトテニス大会 公苑長杯の開催	篠山市・丹波市の将来を担う青少年の健全育成を図るため、ソフトテニスを通じた中学生の交流の場を提供する。	・日程：5月5日(日・祝) ・場所：丹波の森公苑テニスコート ・参加者数：中学生 198人 (男子49ペア・女子50ペア) ・参加費：1ペア 500円	67,500	67,500	
	オ 丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし語りベークラブの活動支援	子どもの健やかな成長とこころ豊かな地域づくりを願い、兵庫丹波の森協会が発行している「丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし」(全10集)を活用し、家庭や地域に広める活動を推進するため、大型紙芝居等の作成・修復に対する助成や研修会を開催する。	・第1回役員会：4月30日(火) ・第2回役員会：5月25日(土) ・交流研修会(丹波市立佐治小学校) ：6月26日(木) (16名参加) ・第3回役員会：7月3日(木) ・丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなしの里を訪ねる旅 ：8月27日(火) (26名参加) 参加費 500円 篠山市…栗柄不動の滝・丹波並木道中央公園 丹波市…ふなき荘(春日町船城) 中山公民館(春日町中山) ・第4回役員会：9月10日(火) ・紙芝居等の作成費及び修復助成 3件 51,000円	344,000	253,227	
(5) 公2 共通経費	ア 施設運営・管理	公2 生活創造活動への支援事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公2 生活創造活動への支援事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費に支出している	71,681,852	68,250,971	

公3 芸術文化の振興

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
(1) 舞台芸術 鑑賞機会の 提供	ア 丹波の森国際音楽祭 シュューベルティアーデ たんば2013の開催	国内外からアーティストを招聘し、地域交流・国際交流の輪を広げるコンサートを開催する。 ・オリジナル企画でシュューベルトの音楽を楽しみ交流を深めるコンサートを開催 オープニング・サロンコンサート(2公演) ファイナルコンサート(1公演) ・丹波地域の住民等が企画・運営する街角コンサートの実施(10地区・10回) ・丹波地域の幼・小・中・高・特別支援学校園へ出向いて行う「ふるさと音楽広場」(10校)、「キン・コン・カン・コンサート」(5校)の実施 等	・テーマ：“丹波”ときめく森 ～麗しのアリア～ ・開催期間 9月7日(土) ～11月16日(土) ○ホールコンサート ●オープニングサロンコンサート ・日 程：9月7日(土) ・場 所：お菓子の里丹波(篠山市) ・入場料：3,000円(当日3,500円) ・参加者数：232人 ●ファイナル・コンサート ・日 程：11月16日(土) ・場 所：丹波の森公苑ホール ・入場料：大人2,500円(当日3,000円)、中・高校生1,000円(当日1,500円) ・参加者数：601人 ○街角コンサート(丹波2市10会場) ○キン・コン・カン・コンサート(中・高校5校) ○ふるさと音楽ひろば(小学校10校) ○協賛コンサート(1ヶ所) ○歌のつどい(2ヶ所)	1,500,000	1,500,000	
	イ 丹波の森演劇祭の開催	地元で活動する劇団等が一堂に会する演劇祭を開催し、丹波から特色ある演劇文化を発信するとともに、京都丹波の劇団の参加を得て、演劇を通じた大丹波文化交流を行う。	【丹波の森子どもミュージカル体験塾(再掲)】 【丹波の森演劇祭(劇団公演)】 ・日 程：10月26日(土)、27日(日) ・場 所：丹波の森公苑ホール ・入場料：大人500円、高校生以下無料 ・入場者数：385人	677,000	677,000	
	ウ 丹波の森公苑ホール等自主事業	地域文化の高揚と芸術の香り高い暮らしを創造するため、演劇や音楽など質の高い公演を定期的に企画・開催し、県民に優れた生の舞台芸術を鑑賞する機会を提供する。	・日 程：3月22日(土) ・場 所：丹波の森公苑ホール ・内 容：桂米朝一門花形落語会 ・入場料：2,500円(当日3,000円) ・入場者数：626人	1,220,000	1,220,000	
(2) 芸術文化 活動の振興	ア アートクラフトフェスティバルinたんばの開催	丹波地域におけるクラフト文化の向上、創作活動を普及させるため、全国各地で活動するクラフトマン約180人が一堂に集い、芝生広場など苑内での自由な作品展示、来演者との交流を行う。	○アートクラフトフェスティバルinたんば2013 ・日 程：10月5・6日(土・日) ・出展者：180名 ・来訪者：15,000人	460,000	450,000	
	イ 丹波の森ウッドクラフト展(木のおもちゃ展)の開催	丹波のイメージアップと木エクラフトを普及させる全国公募展を開催する。 【概要】 「遊び・戯れ・木のぬくもり」をテーマに公募 ・全国公募 一般の部 ジュニアの部 ・展示 一般の部：9月～10月 ジュニアの部：10月～11月	【一般の部】 出展 89名 102点 展示 9月22日(日) ～10月6日(日) 見学者 2,252人 【ジュニアの部】(高校生以下) 出展 14校 226名 175点 展示 10月27日(日) ～11月10日(日) 見学者 687人	1,000,000	1,000,000	
	ウ 丹波の森アートフェスティバルの開催	広く美術家、美術愛好家に創作活動の発表の場を提供するとともに、県民や県内芸術家との交流を図る。	【新春書き初め展】 ・日 程：①1月31日(金) ～2月2日(日) ② 2月7日(金)～9日(日) ・場 所： ①丹波の森公苑多目的ルーム他 ②篠山市四季の森生涯学習センター 【文化賞受賞者小品展】 ・日 程：11月1日(金)～6日(水) ・場 所：丹波の森公苑多目的ルーム	150,000	150,000	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
	エ 展示ギャラリーの開設	創作あるいは地域づくり活動に励む人々に展示や発表機会を設け、世代や分野を超えた交流を深めるとともに、創作活動のサポートを行う。	・利用件数：27件(押し花展、絵画展など)	10,000	10,000	
	オ 伝統文化活性化支援事業	地域の伝統文化を保存・継承するため、青少年が伝統文化に親しみ理解を深めることができるようにするため、学校等において伝統文化を学習・体験する場づくりを支援する。	【子どもたちの伝統的な芸術鑑賞】 ・日程：1月～2月 ・場所：丹波地域内の小学校8校(小学5,6年生を対象) ・内容：和楽器(尺八、琴、三味線など)演奏の鑑賞 ・参加者数：305人	80,000	80,000	
	カ 座っ展2013-丹波でうまれた木の椅子-	丹波地域で創作活動をする木工家13名、30脚の木の椅子の展示を行い、座ることによって木の椅子の安らぎや手づくり作品のすばらしさを体感し、年輪の里・木工の里丹波をアピールする。	○開催期間 4月28日(日)～5月6日(月・祝) (年輪の里GWフェスタ) ○展示会場 年輪の里 木の館 ○見学者 1,898名 ○アンケート実施 回答者704名	120,000	114,778	
(3) 公3 共通経費	ア 施設運営・管理	公3 芸術文化の振興事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公3 芸術文化の振興事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費に支出している。	20,948,345	20,948,345	

公共 丹波地域情報の発信等

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
(1) 丹波地域情報の発信等	ア 情報誌「丹波の森」の発行等	みんなで参画と協働の地域づくりを進めるため、丹波の森づくりをはじめ、地域の各種実践活動等の情報を全国に発信する。 また、ホームページを開設・運営し、タイムリーな情報を提供する。	○情報誌 ・6月 41,000部発行 ・1月 41,000部発行 ○メールマガジン ・毎月2回 167人に発信 ○ホームページによる情報発信 ・更新 毎月3回 ・アクセス件数 延べ314,932件 ○年報 2012 ・9月発行 HPに掲示 ○協会ニュース 2013 ・12月発行 HPに掲示、関係団体に配布	1,605,000	1,602,811	
	イ 運営委員会の開催	地域の参画による事業運営を行うため、たんばの地域住民、行政関係者及び学識経験者で構成する運営委員会を設置する。	○丹波の森公苑運営委員会 11月24日(日) 17名出席 ○ささやまの森公園運営協議会 6月21日(金) 18名出席 3月18日(火) 17名出席 ○丹波年輪の里運営協議会 3月11日(火) 13名出席	511,100	503,468	

II 収益事業会計等

収1 利用者への利便提供等事業

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
(1) 利用者への利便提供等事業	ア 利用者への利便提供等事業	1 公益目的以外の施設の貸与 県立丹波の森公園及び県立丹波年輪の里において、公益目的以外の施設貸与を行う。 2 施設利用者への利便提供事業 (1) 管理運営施設における飲み物自動販売機の設置 (2) 管理運営施設における物品販売場所の提供 3 木工クラフトキット、加工木材等の販売 木の普及・木工クラフト普及	1 公益目的以外で施設を貸与している。 ・丹波の森公園 ・丹波年輪の里 2 施設利用者への利便提供事業 ・丹波の森公園 ・丹波年輪の里 (1) 飲み物の自販機設置 (2) 物販販売場所の提供 ・丹波年輪の里 レストラン施設貸与 3 木工クラフトキット、加工木材等を販売	5,260,000	4,844,394	

他1 芸術文化団体等活動支援事業

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
(1) 芸術文化団体等活動支援	ア 芸術文化団体等への活動支援	丹波の森公園を拠点として、芸術文化団体等が活発な活動を展開できるよう支援する。	○丹波文化団体協議会 ・構成団体数：33団体（うち2団体は活動休止中） ○おさん茂兵衛DEたんば実行委員会・総会 ・日程：6月29日（土） ・場所：丹波の森公園多目的ルーム ・参加者：80人 ○日本の童謡・唱歌を広める会（平成25年度は実施なし） ○丹波の森食文化講座実行委員会 ・期間：6月14日（金）～11月21日（木）全6回 ・場所：丹波の森公園ほか ・受講者数：51人 ○丹波の森ふれあい劇場 ・日程：6月9日（日） ・場所：丹波の森公園ホール	200,000	200,000	

III 法人会計

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
(1) 法人会計	ア 協会維持運営	・ 評議員会・理事会開催費 ・ 協会事務局管理部門の人件費及び維持運営費	○評議員会 第3回 6月22日（土）開催 9名出席 第4回（書面同意）3月27日（木）開催 ○理事会 第5回 5月31日（金）開催 理事6名・監事1名出席 第6回 12月20日（金）開催 理事6名・監事1名出席 第7回 3月27日（木）開催 理事9名・監事1名出席 ○監事監査 5月26日（日）実施 ○中間監事監査 11月28日（木）実施 ○協会事務局管理部門の人件費及び維持管理費	12,887,000	11,365,318	

平成25年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会施設利用状況

(1)丹波の森公苑

施設	稼動 日数	利用 日数	利用率	利用人数	使用料収入	前年度 使用料収入	前年度対比
ホール	310	99	31.9	29,710	3,735,670	2,604,840	143.4
練習室兼楽屋	310	190	61.3	4,811	428,300	371,000	115.4
楽屋A	310	59	19.0	559	83,000	60,600	137.0
楽屋B	310	57	18.4	291	30,250	19,600	154.3
創作工房	310	151	48.7	4,932	435,650	380,000	114.6
多目的ルーム	310	201	64.8	18,945	1,232,200	1,295,800	95.1
和室	310	128	41.3	1,218	111,500	81,700	136.5
会議室1	310	207	66.8	2,727	231,900	207,800	111.6
会議室2	310	179	57.7	1,449	201,900	183,400	110.1
会議室3	310	165	53.2	2,742	277,600	276,600	100.4
セミナー室	310	185	59.7	6,787	632,700	556,300	113.7
絵画アトリエ	365	363	99.5	1,815	516,800	516,800	100.0
彫刻アトリエ	365	365	100.0	1,825	519,200	258,100	201.2
テニスコート	293	209	71.3	8,596	2,196,500	2,262,650	97.1
グラウンド	293	166	56.7	11,846	457,000	496,300	92.1
計	4,726	2,724	57.6	98,253	11,090,170	9,571,490	115.9
前年度計	4,741	2,370	50.0	81,304	9,571,490		
前年度対比		114.9	115.3	120.8	115.9		

(2) 丹波年輪の里

施設	稼動 日数	利用 日数	利用率	利用人数	使用料収入	前年度使用 料収入	前年度対比
ホール	307	0	0.0	30,579	0	2,300	0.0
工作室A	307	18	5.9	1,064	35,800	63,200	56.6
工作室B	307	42	13.7	2,720	96,100	87,000	110.5
アトリエA	307	72	23.5	1,927	126,000	115,300	109.3
アトリエA	307						
研修室A	307	73	23.8	5,160	232,900	264,200	88.2
研修室B	307	45	14.7	1,145	61,200	58,800	104.1
会議室	307	132	43.0	2,422	103,800	81,400	127.5
工作共同	307	272	88.6	3,608	286,490	282,010	101.6
イベント広場	307	237	77.2	50,754	251,475	296,625	84.8
計	3,070	891	29.0	99,379	1,193,765	1,250,835	95.4
前年度計	3,100	906	29.2	101,106	1,250,835		
前年度対比		98.3	99.3	98.3	95.4		

(3) ささやまの森公園

内訳	稼動 日数	利用 日数	利用率	利用人数	使用料収入	前年度 使用料収入	前年度対比
一般	308			12,658			
プログラム				4,525			
団体利用				1,456			
その他				468			
運営協議会				35			
計				19,142			
前年度計	309			20,277			
前年度対比				94.4			

平成25年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業の受託状況

事業名	委託者	契約金額	収入済額	業務概要	再委託先	再委託額	備考
兵庫県立丹波の森公園指定管理	兵庫県	99,214,000	99,214,000	県立丹波の森公園に係る施設維持及び運営管理業務			
兵庫県立丹波年輪の里指定管理	兵庫県	74,656,238	74,656,238	県立丹波年輪の里に係る施設維持及び運営管理			
兵庫県立丹波年輪の里ナイター照明等修繕工事	兵庫県	441,000	441,000	県立丹波年輪の里のナイター照明等修繕工事			
兵庫県立丹波年輪の里芝広場周辺防犯灯設置等工事	兵庫県	930,000	930,000	県立丹波年輪の里芝広場周辺防犯灯設置等工事			
兵庫県立ささやまの森公園指定管理	兵庫県	33,069,000	33,069,000	県立ささやまの森公園に係る施設維持及び運営管理			
兵庫県立丹波並木道中央公園指定管理	兵庫県	7,000,000	7,000,000	県立丹波並木道中央公園に係る事業企画			
篠山層群ネイチャーミュージアム推進事業(緊急雇用就業機会創出事業)	丹波県民局	2,911,000	2,911,000	『たんば恐竜・ほ乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会』の総会及び企画運営委員会を開催する。 ・ホームページによる情報発信を行う。			
たんば田舎暮らしPR事業	丹波県民局	300,000	300,000	丹波の豊かな自然環境や地域ぐるみのまちづくり活動など丹波の魅力を紹介、案内する事業として「たんば田舎暮らしセミナー」や「田舎暮らし体験施設」を活用したPRを行う。			
空き民家再生マップ作成委託事業	丹波県民局	2,000,000	2,000,000	丹波地域全体の空き民家現状調査を行い、空き民家の多い地域や利活用し積極的な地域等をモデル地区として選定し、マップを作成する。	契約研究員 小橋昭彦	1,650,000	

(単位:円)

(単位:円)

事業名	委託者	契約金額	収入済額	業務概要	再委託先	再委託額	備考
丹波グリーンツーリズムホームページ運営事業	丹波県民局	840,000	840,000	丹波地域の着地型観光の拡大に寄与するべく、関心の高まる農業体験型ツーリズム情報を提供し、丹波地域への誘客につなげる。	NPO法人 情報 社会生活研究所 小橋昭彦	630,000	~
企業との連携による企業の森・里づくり事業	丹波県民局	591,000	591,000	「丹波・協働の森づくりガイドライン」に基づき、企業や集落に対しコーディネートや活動のサポートを行う。	契約研究員 門上幸子	535,500	
丹(まごころ)の里田舎暮らしワンストップ相談事業	丹波市	2,701,650	2,701,650	丹波地域への定住促進と地域活性化を図るため、都市住民を対象に田舎暮らしに関する相談、情報を提供する。			
丹波水上回廊ホームページ更新業務	丹波市	451,500	451,500	自然環境情報発信ホームページ「水上回廊」土地利用から地場産業、暮らし、歴史までの情報を加え、より充実したWebサイトへと更新を図る。	契約研究員 宮川五十雄	406,350	
兵庫県立大学特別公開講座	兵庫県立大学	106,000	106,000	生涯学習の一環として、また、地域に開かれた大学として地域社会への貢献に資するため、大学の研究成果をわかりやすく紹介し、現在の社会や世界の動向を理解する上で役立つ知見を広く県民に提供する。			
学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会の開催	(公財)兵庫県 生きがい創造 協会	150,000	150,000	<ul style="list-style-type: none"> 学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会の開催 学ぶ高齢者のつどい中央大会への学生の派遣 高齢者学習研究協議会丹波ブロック会議の開催 高齢者学習研究協議会ブロック代表者会議、学ぶ高齢者のつどい中央大会等への参加 			

225,361,388 225,361,388